

## 地域と共に歩む勝間田高等学校

岡山県立勝間田高等学校

平成17年に日本原高等学校と統合した新生勝間田高等学校も5年を経過しました。農業科3科（グリーン環境科、食品科学科、産業工学科）3クラスと、県北では唯一の総合学科2クラスが併設する個性的な学科編成で地域に根ざした学校として教育活動を展開しています。

畜産の盛んな勝英地域において畜産科がなくなったのは残念ですが、酪農経営を目指す生徒や興味のある生徒で、地域の共進会や畜産農家で家畜審査の練習をさせていただき、農業クラブで県内の生徒たちと審査技術を競っています。その中から今春は3人の後継者が、北海道の学校へ進学する予定です。

少子化や過疎化の影響で地域の高等学校が次々に閉校し、勝英地域には2つの高校しか残っていません。来年には創立110周年を迎える本校の使命はますます重くなっています。地域の皆さんに親しんでいただき、地域の中で生徒が生き生きと成長することを目指して様々な地域交流、学校開放を実施していますので紹介します。

グリーン環境科では「勝高自然塾」と銘打って、子供や一般の方を対象に登山、木工、炭焼きなどの体験教室を開いています。また、演習林では吉井川流域の3つの小学校と森林体験学習をしています。さらに今年度からは地域に飛び出して、過疎集落の援助活動にも取り組み、美作市や美咲町で活動しました。食品科学科も小学校の生徒を招いて、生徒が芋の栽培から加工までを教えたり、パンを焼いたり楽しく交流をしています。また、産業工学科は21年度から「津山ものづくり人材育成事業」で地元企業の技術者に旋盤や溶接などの技術を直接指導していただき、プロの技と人柄から大きな刺激を受けています。

一方、総合学科では文化教養、ビジネス、福祉、生活の4分野から自分にあった目標を見つけ、その実現に向けて学んでいます。特に1年生で様々な職業について学ぶ「産業社会と人間」では、地域の多彩な職業人から貴

重な経験を学んでいます。また、2年生はインターンシップで地元企業での貴重な就業体験をさせていただいています。

さらにすべての科で、地域の方々に講師をお願いして多くの授業や講演を実施していますし、近年は様々なボランティア活動にも積極的に参加させていただき、地域の方々と交流を深めています。

このように特に本校は地域の皆様から温かく支えていただき、地域に学び、地域と共に歩む学校作りを進めることができていることは大変ありがたいことです。本校の卒業生の内、毎年70%近くの者が地元就職しています。地域で育ち、地域を支える学校としてますます発展できますよう、今後とも皆様のご支援をお願いいたします。



美咲町で貴重樹木の保護活動（グリーン環境科）



ビジネス系列の販売実習（総合学科）